



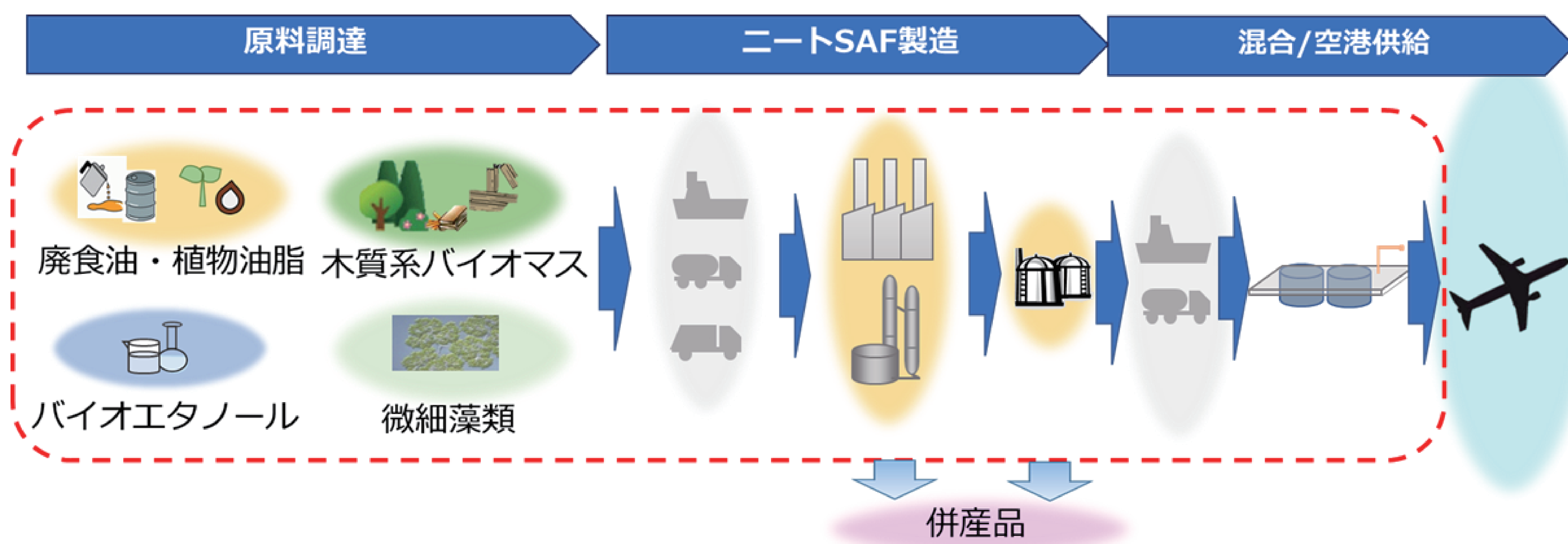
バイオジェット燃料生産技術開発事業

2030年頃のSAF (持続可能な航空燃料) の実用化を目指します。

実証を通じたサプライチェーンモデルの構築

SAF製造および供給に至るまでのサプライチェーン構築に向けた技術開発を実施し、2030年ごろの事業化実現を目指します。

廃食油や植物油脂、バイオエタノールや木質バイオマス、微細藻類などの多様な原料の調達から、ニートSAFへの各変換プロセスの実証、空港納入までの燃料品質確保、供給体制の構築に至るまで、SAFの事業化に向けてサプライチェーンの構築に向けて取り組みます。



微細藻類基盤技術開発

SAFの原料でもあり、カーボンリサイクル技術の一つである微細藻類について、培養・分析の標準条件整備や安定した大量培養技術の確立を目指します。

微細藻類種の選定、育種や多様な培養方法について大量培養実証を行います。

また、藻類種や培養条件の実証データ取得が可能な研究拠点を整備し、培養・分析条件の標準化を行います。



藻類を軸としたカーボンリサイクル

